

令和5年10月2日

鹿児島観測所・佐多観測所訪問

氏名: 五味 優輝

所属: 名古屋大学・宇宙地球環境研究所/工学部電気電子情報工学科 塩川研究室(学部4年)

滞在期間: 令和5年9月28日～令和5年9月30日

令和5年9月28日～令和5年9月30日の日程で鹿児島島に赴き、動作不良となった磁力計を交換し、ケーブルを敷設した。磁力計が設置している場所は、人間活動の影響が小さくなるような人里離れた台地の上や森林の中であり、もちろん未舗装である。足元が不安定な中での作業は非常に体にこたえるものであった。

特に佐多観測所では、ケーブルを埋めるために穴を50mほど細く長く掘り続けなければならなかったものの、地面には岩石が数多く埋まっており、ピックルを何度も振りかぶる必要があった。高温多湿な環境であり、塩川先生が着用していたズボンは汗でびしょり、作業翌日の朝まで乾かなかったそうだ。全員が力を振り絞り、タイトな日程ながらも予定通り作業を終えることができた。作業が終了したときの達成感はひとしおであった。

また、今回の観測所訪問によって、観測所の保全是地元の方々の協力によって成り立っていることを知った。場所を貸して下さったり、草を刈って下さったり、重機を用いたり、数々の支えがあることで研究活動が成り立っている。これから研究の際にデータを用いる場合には、たくさんの方々への感謝を忘れないようにしたいと感じた。



図1 ピッケルで穴を掘り進める様子



図2 作業後、椅子を譲り合う様子
服が汗でびしょびしょだ